



ドリンク製造のプロフェッショナル

タンポポ産業株式会社





コンセプト&処方開発



デザイン&包材開発



本製造～納品



私たちは、消費者の健康をサポートする ドリンク製造のプロフェッショナル。

ドリンク商品の原料選定から処方提案・試作・安定性試験・製品化まで
全て自社で実施しており、ドリンク製造に関わる全ての過程をサポートさせて
いただいております。また、開発～製品化までのスピーディな対応を
可能とし、小ロット製造にも対応しております。



豊富な原料情報から お客様の求める味を導き出します。

まずは、お客様の求める商品についてじっくりお伺いいたします。
どんな消費者に、どんな差別性をもって、どこで、どう売るのがか。
その情報をもとに、豊富な処方開発経験や最新の素材情報を活かした処方をご提案いたします。
また、試作品はリクエストから最短3日～10日程度でご提示できる体制を整えています。



—— OEM受託フォロー 1 ——
コンセプト&処方開発



試作品は最短3日～10日程度で
お届けいたします。

長年培った処方開発経験より、お客様のご希望する
風味を提案いたします。

また、味付けについては多くのお客様よりご好評
いただいております。



お客様との打合せをもとに
的確な原料を提案いたします。

豊富な原料情報をもとにお客様の商品のコンセプト
にあった原料および処方を提案いたします。

ほかにもお客様から原料をご支給いただき、その原料
にあわせた副原料および処方を提案いたします。

製品の魅力を高める デザインや包材開発もお任せください。

お客様からいただいたデザインをもとに、

当社機械適性にあわせた包材デザインを提案いたします。

また、デザインや包材開発など自社で経験がないお客様へは、当社協力会社を紹介させていただきますので、ご安心ください。



— OEM受託フォロー 2 — デザイン&包材開発



ラベルや包材のデザインを
一括して提案いたします。

お客様のイメージをお伺いし、それをもとにラベル
や包材のデザインをいたします。

また、当社の機械適性、輸送時の耐久性などの機能
性と、製品の魅力を高めるデザイン性を両立させる
ことができる協力会社を紹介いたします。



ラベルや包材に必要な
記載項目の作成をサポートいたします。

ラベル、包材の表示には、食品衛生法、健康増進法、
計量法、JAS法…と様々な法令が関わります。

当社では、それら法規上記載必要な項目の作成を
サポートいたします。

厳格な品質管理体制のもと 自社工場による一貫生産をおこないます。

計量・調合～充填～包装まで一貫して製造できることが当社の強みです。製造においては、各種工程内検査の実施や、定期的な作業環境のチェックなど、お客様に安心・安全な製品をお届けできるよう日夜努力をしております。また、内容液には医薬品に使用されるレベルの精製水を使用しており、安全性に配慮した製品づくりを行っております。



— OEM受託フォロー 3 —
本製造～納品



小ロット生産や
柔軟な納期対応をしております。

初回導入などの小ロット生産にも対応しておりますので、市場での反応を見るなどお客様が無理なく販売計画を立案できます。また、都心部に工場がある事を活かし、柔軟な納期対応を可能としております。



ISO9001に基づいた
生産・品質保証体制を築いております。

原料資材のトレーサビリティの確認、各種工程内検査の実施、製品の官能検査や細菌検査を自社で実施できる体制を整えており、お客様に安全な製品をお届けいたします。

生産設備



調合タンク



純水装置



パスターラー



目視検査

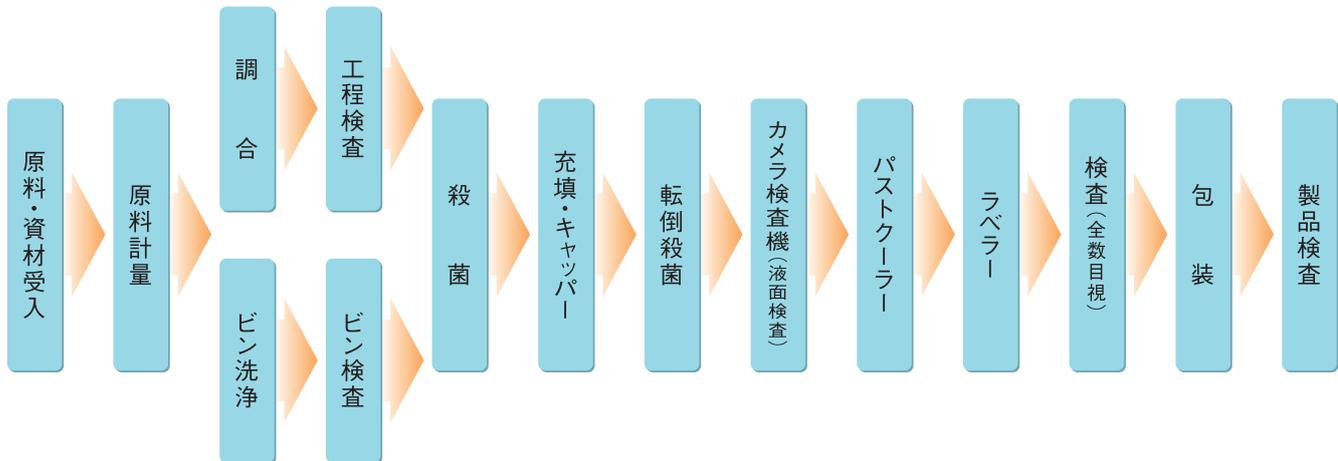


自動段ケースラッパー



出荷

生産工程



私たちは、清涼飲料水の製造を通して
お客様とともにブランドを築いていくことを目指します。

私たちが真心をこめて製造したものが、ブランドオーナー様へ、そして消費者の方々へ。

「お客様の大切なブランドを築くお手伝いがしたい。」という思いを胸に、

私たちはものづくりに携わっています。



代表取締役社長

諏訪 俊幸

MESSAGE

社長メッセージ

当社は昭和29年に創業、昭和41年改組により設立された会社で、現在では清涼飲料水の受託製造を専門に行っています。広島で創業し、首都圏に程近い千葉に工場を移転してから、早50年近い歳月が経ちました。今では多くの受託メーカーがございますが、受託専門の工場が少なかった時代に、おかげさまで、いち早く専業メーカーとしての地位を確立することができました。これも、数多くのお客様のご支援・ご指導・ご鞭撻の賜物であり、この場をお借りして感謝申し上げます。

OEMに徹して40年の歳月が経過しましたが、その間、食品を取り巻く環境は大きく変化いたしました。食品に対する社会的要求の高まり、安全性の向上、法令遵守など、食品製造に携わる者の責任は重大であり、そしてそれらを活かすための情報収集力や分析力も必要です。私たちは、単なる受託メーカーとしてだけでなく、商品そのものの知識・法令知識・トレンドなど、お客様に資する情報を提供することも重要な責務と考えています。私たちはこれからも皆様のニーズに誠実に対応しつつ、安全で高機能を有した商品の開発・製造に力を注いでいきます。

また、私たちは、清涼飲料水の製造を通して、お客様とともにブランドを築いていくことを目指しています。お客様に愛されるブランドを築くには、メーカーが愛情を持ってものづくりを行うことも不可欠です。私たちが真心をこめて製造したものが、ブランドオーナー様へ、そして消費者の方々へ。「お客様の大切なブランドを築くお手伝いがしたい。」という思いを胸に、私たちはものづくりに携わっています。

『私たちは、消費者の健康をサポートする食品の開発と供給を通じて社会に貢献します』という経営理念のもと、より安全で安心な商品づくりのための努力を惜しみません。そのために、社員ひとりひとりが成長していくことも大切なことと考えています。皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

会社概要

会社名	タンポポ産業株式会社
創業	昭和29年（1954年）12月
資本金	10,000千円
代表者	代表取締役社長 諏訪 俊幸（スワ トシユキ）
従業員	54名（パート含む）
営業品目	美容関連飲料、健康関連飲料、その他機能性飲料
取引銀行	千葉銀行 津田沼駅前支店／みずほ銀行 船橋支店／商工組合中央金庫 千葉支店 三菱東京UFJ銀行 船橋支店／三井住友銀行 船橋支店／阿波銀行 江戸川支店 日本政策金融公庫 中小企業事業 千葉支店

アクセス

- ・東葉高速鉄道「飯山満」駅より徒歩12分
- ・新京成線「前原」駅より徒歩8分
- ・JR津田沼駅北口6番バス乗り場にて「千葉病院前行き」or「東船橋駅行き」乗車「千葉病院前」下車 徒歩2分



本社工場

〒274-0823 千葉県船橋市二宮1-6-8
TEL 047-466-3155(代表) FAX 047-463-9508
E-mail eigyo@tampopo-sangyo.com

会社沿革

1954年（昭和29年）	広島市においてヤクルトのボトリングを開始。
1956年（昭和31年）	広島市大洲町に(有)日本乳酸西部研究所を設立。乳酸菌飲料“スターム”の製造開始。
1960年（昭和35年）	現在地に本拠を移転し、希釈壺詰部門の生産規模を拡大。
1965年（昭和40年）	株式会社に組織変更。タンポポ食品株式会社設立。 関東地区における発酵乳の製造設備の新設、冷蔵ショーケース・牛乳自動販売機の 大量購入、雪印乳業製品の導入を行い、卸売部門を拡大。
1966年（昭和41年）	タンポポ産業株式会社設立。販売部門を分離。
1972年（昭和47年）	牛乳・牛乳壺に入れたヨーグルト・生ジュース等の製造販売部門を合理化の為閉鎖し、 新たに健康食品の受託加工業務を開始。
1977年（昭和52年）	100ml用18,000本/h完全自動ドリンク製造ラインを設置し、KIOSK向けビタドリンク の製造開始。
1979年（昭和54年）	果実飲料のJAS認定工場に指定される。
1980年（昭和55年）	ヤクルト“タフマン”製造開始。
1983年（昭和58年）	タンポポ食品株式会社の製造部門を吸収し、製造販売組織をタンポポ産業株式会社 一本にまとめる。
1984年（昭和59年）	大壺用（300～1,000ml）3,000本/h完全自動ドリンク製造ライン設置。
1985年（昭和60年）	50ml用18,000本/h完全自動ドリンク製造ライン設置。
1988年（昭和63年）	(株)ニチレイの50ml入“アセロラドリンク”製造開始。
1989年（平成元年）	発酵乳製造設備・調合設備・充填設備を徹底的に更新し、作業の省力化を実施。
1996年（平成8年）	タンポポ食品株式会社を吸収合併し、資本金を1,000万円に増額。
2004年（平成16年）	新規大壺ボトルクーラーおよび転倒殺菌機導入。
2006年（平成18年）	50ml自動洗壺機および大壺充填機更新。
2007年（平成19年）	品質マネジメントシステムISO9001:2000認証取得。
2010年（平成22年）	品質マネジメントシステムISO9001:2008へ更新。
2011年（平成23年）	大壺用自動洗壺機更新。新規50ml用実ビン検査機導入。
2012年（平成24年）	千葉県成田市に工場開設。
2014年（平成26年）	成田工場に10ml～120ml用充填機導入。
2017年（平成29年）	品質マネジメントシステムISO9001:2015へ更新。
2020年（令和2年）	HACCPに沿った衛生管理制度化 対応完了。

社名由来 踏まれても 踏まれても 芽を出す
俺は道端のタンポポか
タンポポは 春に先駆け黄金の花が咲き
種子は羽根をつけ 空に舞う
民族協和の理想は
満州のみに 固執しなくとも
広い世界の民族に目を向けよう
来て欲しいと
言われる日本人になれば良い
その時こそ タンポポの種子のように
大空に向けて飛んで行け
創始者の呟きより

